

令和7年度 第1回羽曳野市地域福祉推進委員会・羽曳野市地域福祉活動計画推進委員会
(議事要旨)

開催日

令和7年6月6日(金) 14時00分～15時45分

開催場所

羽曳野市役所 別館3階 会議室

出席委員

新崎委員、吉田委員、酒井委員、外園委員、田仲委員、堀脇委員、齋藤委員、木村委員、
上田委員、上間委員、村本委員、新見委員、猪砂委員、麻野委員、中野委員、松下委員、
奥野委員、芝池委員、林委員、杉本委員、南里委員、宮井委員、梅本委員、秋田委員、
小池委員、松岡委員、浦田委員

次第

1. 開会
2. 市長挨拶
3. 羽曳野市地域福祉推進委員会 副委員長選出
4. 羽曳野市地域福祉活動計画推進委員会委員 委嘱状交付
5. 羽曳野市地域福祉活動計画推進委員会 委員長・副委員長選出
6. 委員長挨拶
7. 地域福祉計画・地域福祉活動計画について
8. 第4期羽曳野市地域福祉計画の評価について
9. 第4期羽曳野市地域福祉活動計画の評価について
10. 第5期計画の策定に向けた各種アンケート調査について
 - ・市民アンケート調査
 - ・専門職ネットワークに関するアンケート調査
 - ・校区福祉委員アンケート調査
 - ・団体アンケート調査
11. その他
12. 閉会

議事概要

1. 開会

2. 市長挨拶

3. 羽曳野市地域福祉推進委員会 副委員長選出

市事務局から、吉田委員を副委員長とする提案があり、拍手により承認

4. 羽曳野市地域福祉活動計画推進委員会委員 委嘱状交付

5. 羽曳野市地域福祉活動計画推進委員会 委員長・副委員長選出

社会福祉協議会事務局から、新崎委員を委員長に、吉田委員及び酒井委員を副委員長とする提案があり、拍手により承認

6. 委員長挨拶

7. 地域福祉計画・地域福祉活動計画について

地域福祉計画・地域福祉活動計画について、委員長より説明

8. 第4期羽曳野市地域福祉計画の評価について

第4期羽曳野市地域福祉計画の評価について、事務局（羽曳野市）より報告

9. 第4期羽曳野市地域福祉活動計画の評価について

第4期羽曳野市地域福祉活動計画の評価について事務局（羽曳野市社会福祉協議会）より報告
2つの校区の取り組みについて紹介

10. 第5期計画の策定に向けた各種アンケート調査について

第5期計画の策定に向けた各種アンケートについて、計画策定支援業務委託事業者より説明

11. その他

第5期計画の策定に向けた、今年度の取り組みについて事務局（羽曳野市と社会福祉協議会）より説明

（事務局：羽曳野市社会福祉協議会）

・住民懇談会について説明

（事務局：羽曳野市）

・第5期羽曳野市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定スケジュールについて説明

(委員長)

- ・第4期地域福祉計画・活動計画ではコロナ禍で、校区福祉委員や民生委員・児童委員、事務局の職員数名でお話を聞かせていただくということを3地区で行った。今回はよりたくさんの方から地域のそれぞれの思いを聞きたい。また、第5期計画の策定スケジュールについても、日程をある程度決めさせていただいた。忙しい中だが、一人でも多くの委員の皆さんに参加いただければと思う。

(委員)

- ・令和7年11月30日が民生委員・児童委員の一斉改選となる。1月から動いているが、12月に意向調査したところ、188名いる中で大部分が辞任の意向。各町会の区長に動いてもらっており、1月に全区長に一斉改選に伴う民生委員・児童委員の推薦依頼を行った。とにかく皆さんに協力をお願いするしか方法がない。人手不足になっているのでよろしくお願ひしたい。

(委員長)

- ・民生委員・児童委員や校区福祉委員といった方が、地域の中で困っている人を発見したとき、その人をどうつないでいくか、重層的支援体制整備事業という中でそれをしっかりと受け止め、一緒に考えていく仕組みづくりが今回の計画の中でも取り組んでいかねばならない課題。
- ・民生委員・児童委員の委嘱についてもご協力いただきたい。

(副委員長)

- ・羽曳野市だけではなく、他の地域でも若い担い手が課題ということは聞くが、その部分が福祉の難しさや、大変さだという意識もあるかと思う。しかし、本来福祉はそんなに難しいものではないと思う。一人ひとりにとって居心地がいい、本当の意味で居場所に地域がなっていく、そのために世代を超えた営みをしていくことを考えていけたらと感じている。また、「ふれあいネット雅び」をはじめとした地域福祉活動を、住民の方が丁寧に取り組まれている姿を見せていただき、その取り組みが皆様や地域の方の参加も含めて進められているということであれしく感じている。
- ・住民懇談会では、日ごろから活動されている方の話を聞かせていただきたい。それを強力にバックアップするのが市や社協の役割だと思うので、そういうところも含めて忌憚のない意見をいただき、一緒に進めていきたいと思う。

(委員長)

- ・行政だけ、社協だけ、住民だけの取り組みではなく、一緒に力を合わせて第5期の地域福祉計画・地域福祉活動計画をよりよいものにし、5年後にそれを実行できたといえるような実のある計画にしたいと思う。

(羽曳野市保健福祉部長)

閉会の挨拶

12. 閉会